

現在の県体育館の稼働状況と受入れ先の試算について（令和6年度実績ベース）

1 稼働状況の計算の考え方

○ 県体育館では、利用者の人数や種目にかかわらず、「バドミントンコート何面分を利用したか」によって予約・稼働状況を管理している。

例1：バスケットボールチーム50名がバスケットコート2面分で練習するとき、バドミントンコート10面分を利用

例2：卓球の愛好者団体10名が卓球台を5台設置して練習するとき、バドミントンコート2面分を利用

○ 他の体育館についても、県体育館と同じ考え方で「バドミントンコート何面分を利用したか」換算し、受入れ可能な面数を集計した。

2 現在の県体育館の稼働状況（令和6年度）

主競技場の稼働状況（バドミントンコート10面）

（単位：面）

時間帯	予約可能枠 a	利用面数				計 f	稼働率 g=f/a
		練習等 b	催し物 c	大会併用 d	大会単独 e		
9時-12時	3,470	1,580	430	330	360	2,700	77.8%
12時-16時	3,470	1,780	350	400	386	2,916	84.0%
16時-18時	3,470	1,409	340	390	366	2,505	72.2%
18時-21時	3,470	2,727	270	240	110	3,347	96.5%
計	13,880	7,496	1,390	1,360	1,222	11,468	82.6%

小競技場の稼働状況（バドミントンコート6面）

（単位：面）

時間帯	予約可能枠 h	利用面数				計 m	稼働率 n=m/h
		練習等 i	催し物 j	大会併用 k	大会単独 l		
9時-12時	2,082	1,409	120	198	66	1,793	86.1%
12時-16時	2,082	1,028	144	228	72	1,472	70.7%
16時-18時	2,082	1,231	102	216	66	1,615	77.6%
18時-21時	2,082	1,777	18	120	18	1,933	92.8%
計	8,328	5,445	384	762	222	6,813	81.8%

（補足）大会併用...主競技場及び小競技場を併用して開催される大会

大会単独...主競技場のみ又は小競技場のみを利用して開催される大会

3 山形市内の体育館（地域住民のためのスポーツ施設及び既存施設）での受入れに係る試算

主競技場及び小競技場における練習等での日常利用(b)(i)や催し物(c)(j)、小競技場単独で開催される大会(l)の受入れが可能と考えられる。

山形市内の体育館の受入可能枠

利用面数

（単位：面）

時間帯	地域住民のためのスポーツ施設			既存施設※			合計			差引 u=q-t
	o	p	q=o+p	練習等 r=b+i	催し物 s=c+j	小競技場 大会単独 l	t=r+s+l	合計		
9時-12時	2,082	5,448	7,530	2,989	550	66	3,605	3,925		
12時-16時	2,082	7,281	9,363	2,808	494	72	3,374	5,989		
16時-18時	2,082	7,146	9,228	2,640	442	66	3,148	6,080		
18時-21時	2,082	2,796	4,878	4,504	288	18	4,810	68		
計	8,328	22,671	30,999	12,941	1,774	222	14,937	16,062		

※令和6年度の予約可能枠から、利用された面数を除いた枠

<山形市内の体育館の規模>

- ・地域住民のためのスポーツ施設：バドミントンコート6面を想定（=現県体育館小競技場）
- ・総合スポーツセンター第一体育館（既存施設）：バドミントンコート12面
- ・同第二体育館及び南部、福祉、江南、沼の辺体育館（既存施設）：いずれもバドミントンコート6面

【参考1】県総合運動公園のアリーナ、サブアリーナでの大会の受入れに係る試算

主競技場と小競技場を併用する大会(d)(k)及び主競技場単独で開催される大会(e)の受入れが可能と考えられる。

県総合運動公園アリーナ受入可能枠
（バドミントンコート12面）

時間帯	県総合運動公園 アリーナ※ v
9時-12時	2,076
12時-18時	1,692
18時-21時	480
計	4,248

利用面数

主競技場 大会併用 d	主競技場 大会単独 e	合計 w=d+e
330	360	690
790	752	1,542
240	110	350
1,360	1,222	2,582

（単位：面）

差引 x=v-w
1,386
150
130
1,666

県総合運動公園サブアリーナ受入可能枠
（バドミントンコート6面）

時間帯	県総合運動公園 サブアリーナ※ y
9時-12時	828
12時-18時	588
18時-21時	144
計	1,560

利用面数

小競技場 大会併用 k	差引 z=y-k
198	630
444	144
120	24
762	798

（単位：面）

※令和6年度の予約可能枠から、利用された面数を除いた枠

【参考2】屋内スケート施設の体育館への切替えによる活用のシミュレーション

比較的スケート利用の需要が落ち着くと考えられる夏季を中心とした4月～10月の期間において、主競技場単独で開催される大会を受け入れると仮定。

主競技場単独で開催される大会の状況

（単位：面）

時間帯	主競技場 大会単独 e	うち4～10月 aa	うち11～3月 ab=e-aa
9時-12時	360	220	140
12時-16時	386	236	150
16時-18時	366	216	150
18時-21時	110	50	60
計	1,222	722	500
大会数	37大会	23大会	14大会
大会日数	41日	25日	16日

◇ スケートリンク上に断熱床を敷いて体育館（バドミントンコート9面分程度を想定）に切替えし、4月～10月に主競技場単独で開催される大会(aa)を全て受入れすると、大会数は23大会、所要日数は25日程度となる（1大会当たりの使用日数は1日程度）。

この場合、床の切替え作業に要する期間（大会前日1日及び翌日1日程度）を含め、スケート利用が制限される期間は69日程度（3日×23大会）と試算される。